



島根県公立小中学校

事務職員研究会

会長：鎌田陽子
(出雲市立神戸川小学校)

編集：広報部

VOL.51 2014.8.8 (夏祭り号)

発行責任者 蘿 恵 (川本小学校)

島事研ホームページ

<http://www.oh-net.com/~kenjiken/>

爽

SOU

【目次】

- ▶ つなぐ (会長)
- ▶ 出雲市の学校事務支援グループ業務の紹介
- ▶ 新規採用事務職員研修制度の充実をめざして
- ▶ 人権コーナー
- ▶ 益田教育事務所に勤務して
- ▶ 事務歳時記
- ▶ 学校でスズメバチの発生に困っていませんか?
- ▶ まんが「フーちゃん」
- ▶ 編集後記



つなぐ ～ 繫 絆 継 維 … ～



会長 鎌田 陽子

今期、引き続き会長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

1期目の2年間は、島事研ビジョンのもと動き始めた歩みを、停滞させることなく「次」へ繋ぐことを意識して活動を行ってきました。

今年度は、島事研ビジョン2010中期活動計画の最終年度です。今、役員会では、中期活動計画にそって進めてきた取組の総括を行っています。全体として、さらに事業部ごとに検証し、成果や課題をまとめ、秋の研究大会の場で報告します。

総括をしながら、第四次研究中期計画の研究テーマ「創造しよう 新しい学校事務を！教育課程づくりへの参画を通して」が、会員に浸透していることをあらためて感じています。アクションプランとして発した「授業を観に行こう」「教育課程を知ろう学ぼう関わろう」「UP財務マネジメント力」は、会員が意識するところとなってきたのではないのでしょうか。

さて、ここ数年、矢継ぎ早の島事研からの取組のお願いにうんざりされてはいませんか。日々の業務が年々忙しくなっているなか、研究会活動が負担になっていませんか。

「学校教育法第4章第37条『事務職員は、事務に従事する』ということは、決まり事にそって、粛々と正確に事務をこなすことと考えればよいのではないだろうか。」「正確な仕事をするためのマニュアルはできた。法令を解釈する力量を高める事もできつつある。学校事務職員にとって、研究会は必要なのだろうか。」などと、あえて考えることがあります。

しかし、私たち学校事務職員には、学校事務という仕事には、課題もさることながら、まだまだ「可能性」があります。ワクワクしませんか。「事務に従事する」に止まらず、「事務をつかさどる」職としてまじめに信頼を失うことなく、「可能性」を次々に実現し続けるためには、やはり研究会組織が必要だと思いませんか。

今年度も引き続き「つなぐ」をキーワードに、2010年にスタートした島事研「新たな10年」の後半へ向けて活動をつなげていきます。

出雲市の学校事務支援グループ業務の紹介 (事務の共同実施)

学校事務支援グループ設置の目的

学校の管理運営に係る業務を組織的かつ集中的に処理し、学校管理運営の適正化・効率化を図ることにより小中学校の教育推進体制を強化することを目的とする。

具体的目標

学校の自主性・自立性の確立、開かれた学校、特色ある学校づくりの推進のための学校経営支援として機能していくための手立てを講じる。

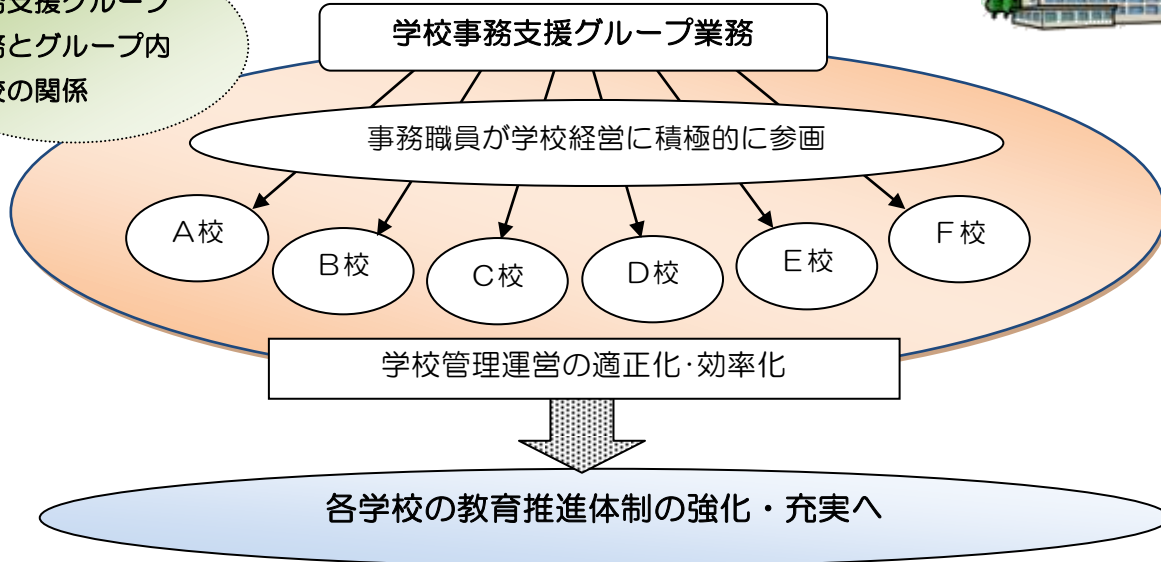
- ① 事務職員が企画や調整に関わっていくための職能成長・キャリア形成の支援
- ② 事務職員の担当領域の実務支援
- ③ 中学校区内小中学校の連携
- ④ 新規採用等経験の浅い事務職員の支援、未配置校・大規模校等の支援
- ⑤ 経験豊富なベテラン事務職員から経験の浅い事務職員への事務手法の継承
- ⑥ 機能的な校内事務処理システムを構築し、学校全体の事務量を軽減するための事務改善の支援



推進機関

- **学校事務支援グループ** (中部・南部・北部・西部・東部・斐川部) 月1～2回開催、訪問・情報交換随時
- **学校事務支援正副グループ長会** 月1回開催(統括グループ長、各正副グループ長、市教委担当課)
- **学校事務改善委員会** 年複数回開催(校長・教頭・教務主任代表、統括および各グループ長、市教委各課)
学校(教職員)の多忙の解消に向けて ① 学校の総事務量を減らす → 簡略化・削減の検討
② 解決策の検討・校務支援システム構築、処理方法の改善の検討
③ 市教委と学校の役割分担の見直し検討

事務支援グループ
業務とグループ内
学校の関係



*** 学校事務支援グループの具体的な業務内容 ***

組織運営に 関する 事務等	業務計画及び報告	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画および月別業務計画書作成 → 出雲市教育委員会およびグループ内校長へ提出 ・月別業務報告書作成 → グループ内校長へ提出 ・年間の業務報告書作成 → 出雲市教育委員会・グループ内校長へ提出 ・次年度の計画立案 ・事務支援だより「舩」発行，事務支援活動の周知 → 全教職員配付 ・事務支援ホームページの公開 ・各種調査の実施 ・自己評価の実施
学校事務支援グループの業務	関係機関との連絡調整	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県教育庁出雲教育事務所との連絡調整 ・出雲市教育委員会各課との連絡調整，特に，担当課：教育政策課学校管理係との連携 ・出雲市立小中学校事務職員会との連携
	事務職員の業務が円滑に行われるための支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事務業務の進め方についての情報交換，疑義の解消，情報の共有（「質疑応答カード」） ・校内説明資料等に関する情報交換（内容・手順） ・提出書類の審査点検，ポイントの共通理解 ・報告書類の提出締切日の確認
	事務職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・県，市の法令改正，運用についての確認 ・事例研修 ・受講した研修の還流 ・事務処理システム活用研修
	中学校区内小中学校の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校間の事務の引継，連携 （例）就学援助，学校集金情報，小中連携での関わり，総額裁量制予算関係 等
	グループ内学校への事務支援	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用等経験の浅い事務職員への支援 「平成26年度 新規採用事務職員等支援計画（案）」に基づく支援 「平成26年度 新規採用事務職員の校内における研修項目（案）」を作成，該当校に依頼 ・事務職員未配置校支援 ・市外からの転入事務職員支援 ・育休，産休，病休，補充等の臨時的任用事務職員支援 ・大規模校に対する事務支援と今後の支援のあり方についての検討



「出雲市立小中学校事務職員会」との連携

研 修
研究活動

事務職員の資質向上を目的として，研修会を年2回程度開催

学校事務職員制度の確立，学校事務の改善・充実を図り，学校教育および教育行政の推進に寄与することを目的として研究活動を行っている。

〈 主な研究成果 〉

- 事務処理に係る規定の整備（文書管理・文書ファイル基準表，備品管理，財務取扱）
- 事務処理の手引き（市会計，学籍事務，就学援助，就学奨励費，市費職員に関する事務，自家用車の公務使用，自家用車施設内駐車事務，公用車使用）
- 校内事務処理マニュアル（モデル）～手順・様式例集（財務関係，県関係，集金関係，証明書，報告）
- 事務処理ソフトの開発・紹介・統一（市会計処理，備品管理，文書受付，就学援助，給食数報告・集金管理，特殊勤務記録簿作成，旅行命令簿・旅費請求書作成，私費会計処理など）
- 新人事務職員のための手引き（事務処理用語集編・出勤簿処理編）

9年目を迎えました。定着してきた反面，課題も多くあります。昨年度末の自己評価でもいろいろな意見や今後に向けたアイデアが出されました。これからの事務支援の在り方を考えるときに，今までとは視点を変えて考えていく必要性を感じています。

学校のニーズや事務職員の考えをどう反映させていくか模索中です。他市町村の取組もまた参考にさせていただきたいと思ひます。（統括グループ長 馬庭志津子）



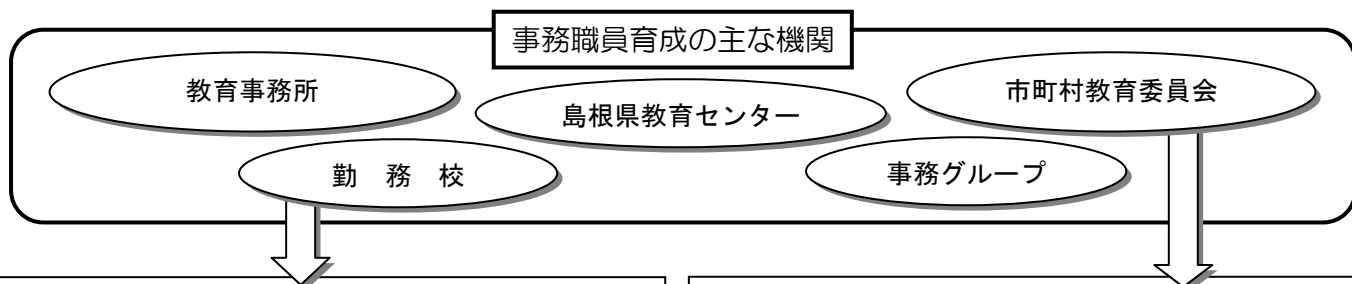


新規採用事務職員研修制度の充実をめざして



島事研 研修部

近年、退職者の増加に伴い、県内の学校事務職員の世代交代が急速に進み、新規採用者が増えてきています。島事研研修部では、新規採用者の育成を促していくことが緊急な課題と考え、更なる研修制度の充実をめざしています。そのため、研究中期活動計画により、それぞれの機関での役割分担を明確にし、一体となって育成していくことが有効と考え、昨年度は勤務校、事務グループで行う研修プログラムを提案し、今年度は市町村での研修プログラムを提案させていただくことになりました。県教委から出された校内における研修項目について、また今年度研修部提案の市町村教委で行う研修項目についてそれぞれ紹介いたします。



〈勤務校で行う研修〉

昨年7月に新規採用学校事務職員研修について提案させていただきました。

今年度から「平成26年度採用島根県新任教職員研修実施要項」の47・48ページに平成26年度島根県新規採用小・中学校事務職員研修実施要項が記載されています。その中で示された校内における研修については、島事研の提案が基になっており、大変喜ばしいことと思っています。今後、各学校現場で実施される研修が確実なものとなるよう取り組んでいきたいと考えています。

校内における研修項目

「平成26年度島根県新規採用小・中学校事務職員研修実施要項」より一部抜粋

1 公教育の役割と諸課題の解決に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・公教育と使命 ・教育改革と学校教育の現状 ・関係法令と学校目標の実現 ・教育施策や事業の展開 ・社会教育、家庭教育との関連
2 学習指導要領と教育課程の編成・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の法的位置づけ ・学習指導要領と教育課程の編成実施
3 学校教育目標の具現化に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価システムの概要 ・学校教育目標と学校経営 ・目標の具現化 ・評価の実施と改善 ・学校評議員制度
4 教職員の服務と公務員としての在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・服務、勤務・待遇 ・人事異動・ハラスメント ・教職員評価制度

〈市町村教育委員会で行う研修〉

市町村教育委員会は小中学校の設置者であり、学校経営に必要な学校事務のほとんどは学校内及び市町村教育委員会との間でやり取りされています。中でも重要性を帯びてくるのは、学校財務・情報管理など学校と市町村教育委員会との間で協議を重ねながら進めていく必要がある事務です。質の高い学校事務職員を育成していくことがよりよい学校運営につながり、市町村の教育の質を高めることにもつながると考えます。このことを念頭に市町村教育委員会による充実した研修が必要であると考えています。

市町村教委における研修項目

	実施項目	内容
1	教育委員会の分掌	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員会各課の業務説明 ○各業務の担当者説明
2	服務	<ul style="list-style-type: none"> ○服務規律の概要 ○自家用自動車の公務使用 ○職務専念義務免除申請
3	学籍	<ul style="list-style-type: none"> ○学籍関係事務の説明 ○転出・転入事務の手続き ○入学・卒業事務手続き
4	財務	<ul style="list-style-type: none"> ○会計事務の概要 ○予算執行手続き ○予算要求 ○修繕・営繕事務手続き ○年度末の会計事務



「なしてそねえーに父さんを嫌うんかい!？」 (どうしてそんなに父さんを嫌うの?)

津和野町立津和野中学校 田村友里

毎晩のようにお酒を飲み、酔っ払うと説教をしてくる父が嫌いだった。年頃の女の子が嫌うタイプにどっぷりはまったような父親だ。

私は4姉妹の次女として生まれ育った。我が家には祖母や曾祖母もあり、男は父と祖父だけという女系家族。私たち姉妹は父を嫌っていたし、嫌われて当然のことを父はしていると思っていた。

大学を卒業して地元に戻り、また家族として一緒に過ごす時間が増えた。とはいえ、父の酒癖はあまり変わっておらず、酔った勢いでデリカシーのない発言をする父を避ける私の態度もまた、変わらなかった。

父と同世代の地元のおじさんたちが集まる飲み会に参加すると必ずとっていいほど聞かれるのが、標題の言葉だ。「なして」といわれても「なしてもいーね!」「どうしてもよ!」としか答えようがない。どんなに「父さんはええ奴で」と言われても私にとっては「いつまでも酒癖の悪い父親」だったからだ。

そんな私も嫁ぐ日を迎えた。結婚式の恒例、両親への手紙を書こうとしたとき、母にばかり感謝するわけにもいかなかったため、父との過去を振り返りハッとした。平日は仕事に行き、土日は田畑の世話をし、私たち家族のために休みなく働く父へ、感謝したことがあったらどうかと。私が父親に感謝できないのは『父の酒癖の悪さ』のせいだと決めつけてきたことに気づいた。そのときやっと、父親孝行しなくてはと思った。

結婚後、父の誕生日には両親と姉、夫と毎年5人でお祝いしている。父は義理の息子という女系家族にはいなかった飲み相手ができて嬉しそうだ。今も父の酒癖は変わらないが、そんなうれしそうな父親と一緒に飲むのも悪くない。



益田教育事務所に勤務して

益田教育事務所 今谷憲司

昨年度から益田教育事務所で勤務することとなり、二年目を迎えました。教育事務所の皆さんや管内学校事務職員の仲間たちに支えられながら、なんとか仕事をすすめています。

教育事務所では総務課に属し、数名のスタッフでそれぞれの担当業務にあたっています。学校で勤務をしている時は、ひとりです務を行うことへの不安を常に感じていましたが、教育事務所ではこれまで体験することが出来なかった『複数で事務を行うことのメリット』を感じながら業務にあたることができます。日々の疑問だけでなく、様々な事例が生じた時にも法的根拠に基づきながら対応と一緒に考え、自分自身も成長できる教育事務所での勤務はとても貴重な経験です。また、学校事務職員が教育事務所へ入ったことにより、学校への支援の検討も始まりました。今年度、これまでに益田教育事務所では、昇任管理職(教頭)への「旅費事務説明会」、若年経験事務職員を対象とした「旅費事務」と「検認事務」の学習会を実施しました。自分だからできることをしっかりと意識して、教育事務所と学校をつなぐ役割を形にするため、いろいろな取組を試していきたいと思います。ただ、学校現場を離れてみると、当然ですが目の前に子どもたちの姿はありません。子どもたちの成長を間近に感じながら仕事のできた学校での勤務と比べると、少し寂しい思いがします。加えて学校では扱ったことがない仕事内容も多く、自分が担当している業務が一体どこに向かっているのか、正直見えにくく不安になることもあります。だからこそ、学校とは違う現場ではあるけれど自分が学校事務職員だという意識は常に持ちつつ、子どもたちにどう向かっていけるか、また私たち学校事務職員にとってどうすればプラスとなり得るか、みなさんと一緒に考えていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



事務歳時記

久屋小学校
森山 訓

新年度 年下ばかり なりにけり
 新年度である。いよいよラストイヤーを迎えることになり、職員室を見渡せばついに一番年上である。昔ひそかな楽しみだったのが、給料明細書の一番上に名前が載ることだったが、平成採用からは「3」で始まることに、残念！

日直の窓開けてゆく 初夏の風

今日は日直当番で少し早目に出勤する。校内の教室や廊下の窓を開けて回ると、新緑・若葉・青葉を通り抜けてくる風が爽やかに入ってくる。さて、今日も一日すがすがしい気持ちで仕事を。事務もはかどることだろう。



梅檀や 君はこれから どうなるの

「梅檀は双葉より芳し」と言う昔からの諺がある。発芽の頃から早くも香気があるように、大成する人物は幼いころより人並みはずれて優れたところがあるという。小学生あたりの子どもたち、さて前途洋々である。

ねがひごと はみ出す文字や 笹飾り



七月七日、もともと島事研会報『爽』の七夕号が発行される時期である。小学校一年生教室の前の廊下には、七夕の笹竹が飾られている。習い始めたひらがなの文字が大きくはみだし、願いごとは限りなく広がってゆく。

Vol.28 おたん

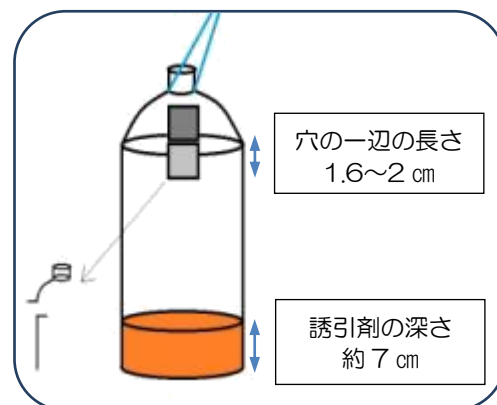
Nice to meet you!!



原作:千葉ひろみ 画:大橋幸子

学校でスズメバチの発生に困っていませんか?

手づくり捕殺器が学校で役立っています



※ 注意!

- ・直射日光が当たらない、ハチの巣や普段人が通行・作業する場所の近く(最低5m)は避けて、子どもがイタズラできないような高さに設置しましょう。
- ・誘引剤が減った・虫で捕殺器内が満たされたら、誘引剤の補給や交換をしてください。
- ・ハチが活動しない夜から明け方の時間帯に設置・補給・交換しましょう。
- ・スズメバチも自然界の一部です。人の生活に支障のない場所での設置は避けましょう。

○ 準備するもの(捕殺器一個当たり)

- ・ペットボトル (1~1.5ℓのもので、なめらかな円筒状のものがベスト)
- ・カッターナイフ
- ・ひも(ビニル製等、長さは設置個所に合わせる)
- ・砂糖(100g)
- ・日本酒(220mL)
- ・酢(70mL)

○ 作り方

- (1) 捕殺器本体
 - ① カッターナイフで、ペットボトルの上部に「H」型の切込みを二か所いれます。
 - ② 「H」の上部をペットボトルの外側、下部をペットボトルの内側にそれぞれ直角に折り曲げて穴をあけましょう。
 - ③ キャップ首にひもを結びつけましょう。
- (2) 誘引剤

砂糖・日本酒・酢を混ぜて、砂糖が十分に溶けて、液が透明になればOK。
- (3) 捕殺器内に誘引剤を入れて、木陰等にひもを吊るして完成です!

(参考:福島県郡山市役所 HP)

【編集後記】私ごとですが、この春、この仕事に就いて初めての異動を経験しました。職場や環境、また同僚も変わり、また一からの日々です。市町村も変わり、事務内容の大幅な違いにも驚いています。思えば子どもたちも同じように、進学しながら1年生を繰り返して経験して、それぞれ大きくなっていくのですね。それが、人間を大きくしていくと思いつつも、目の前の文書の山に悪戦苦闘の日々を過ごしています。(K.N)